

**「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究」  
へのご協力をお願い**

**【研究背景】**

2007年のがん対策基本法が制定され、地域格差なく、水準以上のがん医療が受けられる環境作りをする「がん診療均てん化」のための方策が多角的に打ち出されています。しかしながら、その対象である診療実態を継続的に検討するような体制は未整備です。原因のひとつは、色々なデータが独立に集積され活用されていないためと考えられます。

**【研究目的】**

本研究では、院内がん登録とDPC調査データの一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とします。

**【研究対象】**

2011年1月以降、当院を受診されたがん患者さんのデータが対象となります。

**【研究方法】**

1. 当院のDPCデータから個人情報削除して代わりに院内がん登録で専用番号を付けたものを国立がん研究センターへ提出します。
2. 国立がん研究センターにて診療ガイドラインで推奨されている一定の範囲の標準診療実施率を中心として、その他患者さんが受けている診療の実態を記述する集計を行います。
3. これらのデータからは、当院以外で行われた診療行為や、標準診療を行わない診療上の理由については補足できませんので、算定結果が当院へ返却され、標準診療未実施の場合の理由等について診療録から検討します。
4. そうすることで、このようなデータを使った標準診療実施率算定が適切かどうか検討し、当院における治療方針の検討や、また、国のがん政策への基礎資料を提供などが可能になります。

**【個人情報保護に関する配慮】**

個人が分かる氏名や診療番号などの識別情報は当院からデータを提出する前に全て削除され、全て専用番号に置き換えられます。個人と専用番号の対応表については施錠室に保管しますので、当院を出ることは一切ありません。

また、本研究に情報を利用することをご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申し出ください。

**【研究期間】**

2027年3月まで

**【連絡先】**

独立行政法人国立病院機構別府医療センター

臨床研究部臨床腫瘍学研究室（当院研究責任者）

岡本 龍郎

医療情報管理室（連絡担当者）

穴井 多寿子 診療情報管理士

〒874-0011 大分県別府市内かまど1473番地

TEL：0977-67-1111

**【研究全体の問合せ先】**

国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部（研究責任者） 鈴木 達也

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 TEL：03-3542-2511（内線1602）